

平成23年度文部科学省第4次補正予算の概要

○台風12・15号等に係る学校施設等の災害復旧 29億円

台風12号・15号等により被害を受けた学校施設、公立社会教育施設及び公立社会体育施設等の災害復旧

○安心こども基金の積み増し・延長 36億円

認定こども園の整備、耐震化促進事業等を実施するため、安心こども基金を積み増すとともに事業実施期限を24年度まで1年間延長

○モニタリングポストの増設 89億円

防災対策を重点的に充実すべき地域(E P Z)の拡大(10kmから30km)に対応するため、原子力施設周辺に設置するモニタリングポストを増設(24道府県・約200基)するとともに、新規にモニタリングポストを設置する5県分のテレメータシステムを整備

○陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の開発加速 102億円

今般の東日本大震災での対応においても貴重な衛星画像を提供した陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)が平成23年5月に運用を停止したことを踏まえ、その後継となるレーダー衛星である「だいち2」(ALOS-2)の開発を加速

○ITER(国際熱核融合実験炉)計画の実施 122億円

ITER計画における日本分担分の機器について、東日本大震災を受けて見直しを行ったスケジュールからさらに遅延するリスクを低減するため、その調達活動を加速

合 計

378億円